

## 米子市スポーツ推進計画に掲げる施策の事業別実施状況

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成29年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成29年度決算	次年度取組予定
<b>基本方針Ⅰ 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実</b>							
<b>1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進</b>							
<b>(1) 子供のスポーツ活動の推進</b>							
I-1 (1)-ア	ア 幼児期からの体力向上の推進  親子体力づくり大会	毎年体育の日に未就学の子供とその保護者を対象に、親子体操・リズム体操・器具を使った体操など行う、親子体力づくり大会を開催します。親子で運動遊びを楽しんでもらうことにより、運動に親しみ機会をつくります。家族で体を動かすことに関心を持ち、運動を積極的に生活の中に取り入れてもらい、幼児期における体力づくりの推進を図ります。	スポーツ振興課	体育の日に市民体育館で開催した。昨年と同程度の304人の参加があった。4大会連続で300人を超える参加者数となっていることから、年間複数回の開催を検討したが、委託先から日程調整ができないため実施困難であるとの回答を受けた。しかしながら、子ども達が運動に親しめる環境のさらなる充実を図るためにも、子ども達を対象にした新たなイベントの創設について検討する必要がある。	【親子体力づくり大会】 H29.10.9(体育の日) 参加者数 304人	開催委託料 38,500円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実  少年スポーツ教室	小学生・中学生を対象とする柔道、剣道、陸上競技、ミニバスケットボール、ラグビー、ハンドボール、夏季少年スポーツ教室などの教室を開催します。各教室を主宰する競技団体と連携して、スポーツ教室の充実を図り、各競技の底辺拡大と競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	少年スポーツ教室(9教室)を当初計画どおり開催した。参加者数は、28年度に比べて1,000人程度の減少となった。今後子ども達のスポーツ活動への参加機会の拡充を念頭に、新たな種目の導入等を検討する必要がある。	【少年スポーツ教室】 参加者数 9,997人 (内訳) ラグビー 257人 柔道 4,066人 剣道 1,007人 ハンドボール 2,900人 陸上競技 355人 ミニバス 914人 体操 322人 夏季テニス 131人 夏季バドミントン 45人	開催委託料 (内訳) ラグビー 48,000円 柔道 80,000円 剣道 80,000円 ハンドボール 48,000円 陸上競技 48,000円 ミニバス 48,000円 体操 48,000円 夏季テニス 18,000円 夏季バドミントン 18,000円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実  小学生を対象とする各種大会	少年野球大会、ミニバスケットボール大会、バレーボール大会、スポーツ少年団交流大会などを開催します。子ども達の体力づくりを含め、各競技の底辺拡大と競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	小学生を対象とする各種大会(3大会)を当初計画どおり開催した。参加者数は、2年連続で増加しており、今後もこの傾向が続くよう努めたい。	【小学生スポーツ大会】 参加者数 1,028人 (内訳) 野球 339人 バレーボール 260人 ミニバス 429人	開催委託料 (内訳) 野球 50,000円 バレーボール 15,500円 ミニバス 15,500円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実  スポーツ少年団運営事業	米子市スポーツ少年団の事務局として、活動の支援を行い、少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさにふれることにより、スポーツ活動を通じた子ども達の健全育成を図ります。	スポーツ振興課	各スポーツ少年団の小学生同士の交流を目的とした「スポーツ少年団交流大会」を開催し、市主催のドッチビー大会への参加やボランティア清掃を行った。また、種目別交流大会(軟式野球、バドミントンの2種目)を開催した。その他、西部地区と県の競技別交流大会の7競技に計23チームが参加した。	【スポーツ少年団交流大会】 H29.11.3開催 参加者数 111人 【市競技別交流大会】 軟式野球 11チーム参加 バドミントン(前・後期2回) 8チーム参加	開催委託料 スポーツ少年団交流大会 10,000円	継続
I-1 (1)-ウ	ウ 学校体育・部活動の充実  運動部活動推進事業	中学校の運動部活動において、専門的な指導ができる顧問がいけない場合等に、県が実施する外部指導者の派遣事業を活用し、運動部活動の指導の充実を図ることにより、運動部活動の活性化と競技力の向上を図ります。	学校教育課	【配置校】 東山中…女子卓球部 福米中…男女バスケットボール部、女子ソフトボール部 淀江中…男子バスケットボール部 弓ヶ浜中…男女剣道部 後藤ヶ丘中…女子新体操部、男子バレーボール部、女子バスケットボール部、男女柔道部 【成果】 外部指導者を活用することにより専門的な指導が可能になった。	実施校 5校 部活数 9	補助金事業(県と市町で1/2) (内訳) 市費 455,775円 県補助金 455,000円 合計 910,775円	補助金事業 (県と市町で1/2)で継続 予定

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成29年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成29年度決算	次年度取組予定
<b>1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進</b>							
<b>(2) 成年期からのスポーツ活動の推進</b>							
I-1-(2)	各種スポーツ大会	市民レガッタ、正月マラソン大会、ドッチビー大会、インディアカ大会、スキー大会など、年齢・経験を問わず、市民のだれもが気軽に参加しやすい大会を開催することにより、スポーツ活動の機会を提供し、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	市民レガッタ等5大会を実施した。中でも元日に実施している正月マラソンは、近年参加者が増加傾向にあり、お正月の恒例行事として市民の間に根付いてきている。	参加者数 1,597人 (内訳) 市民レガッタ 437人 市民ドッチビー大会 175人 正月マラソン 900人 インディアカ大会 64人 市民スキー大会 21人	開催委託料 (内訳) 市民レガッタ 19,000円 市民ドッチビー大会 9,000円 正月マラソン 19,000円 市民スキー大会 36,000円	継続
I-1-(2)	市民体育祭	公民館地区又は中学校校区単位のチームで参加できる野球、バドミントン、バレーボール大会などを開催し、競技スポーツに親しむ機会をつくることで、地域住民の交流及び地域のスポーツ活動の推進を図ります。	スポーツ振興課	8大会を実施した。前年度と比べ、参加者数がグラウンドゴルフと野球を除き増加したが、総数としてはほぼ横ばいであった。種目ごとに競技団体と協議し、参加要項の見直し、年齢制限等の出場資格の緩和や1地区あたりの参加チーム数の枠を広げるなど参加者増加のための取り組みを行っている。	参加チーム 160チーム 参加者数 1,594人 (内訳) バドミントン 8チーム・72人 卓球 13チーム・160人 グラウンド・ゴルフ 79チーム・464人 バレーボール 14チーム・210人 ソフトテニス 12チーム・193人 ソフトボール 8チーム・170人 ゲートボール 15チーム・84人 野球 11チーム・241人	開催委託料 (内訳) バドミントン 42,200円 卓球 24,900円 グラウンド・ゴルフ 19,700円 バレーボール 50,900円 ソフトテニス 16,300円 ソフトボール 58,100円 ゲートボール 34,200円 野球 37,700円	継続
I-1-(2)	体づくり歩け歩け大会・体カテスト会	スポーツ推進委員が主体となり、健康増進のため、誰でも参加できる毎月1回のウォーキング(歩け歩け大会)、年間2回の体カテスト会を実施します。スポーツや体づくりへの関心を高め、気軽に運動に親しめる機会をつくり、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【体づくり歩け歩け大会】 年間12回の大会を計画通りに実施した。天候不良の日があったこともあり、前年度と比べ、参加者数は減少したものの、多くの方の参加があった。引き続き大会の周知と内容の充実に向け、ウォーキング習慣の普及を目指す。また、公道を歩くため、安全の確保には留意していきたい。 【体カテスト会】 文科省からの委託事業として実施した。目標人数の100人には達しなかったが、前年度と比べ、参加者数は、大幅に増加した。巖地区で独自に実施するなど地域主導での開催機運等も認められており、引き続き会の周知に努める。	【体づくり歩け歩け大会】 12回実施 延参加者数 420人 【体カテスト会】 2回実施 延参加者数 82人 (前期) H29.5.28 住吉体育館 54人 (後期) H29.10.22 伯仙小学校体育館 28人	【体づくり歩け歩け大会】 旅費 57,180円 施設使用料 5,200円 【体カテスト会】 開催委託料 24,000円	継続
I-1-(2)	いつまでも若々しく活躍する元気づくり教室	概ね40歳以上65歳未満の方を対象に、年間20回程度のストレッチ体操やラダーウォーキングなどを行う教室を開催し、楽しみながら体を動かすことで、健康寿命の延伸を図ります。(平成27年度から3年間の予定。)	健康対策課	健康運動指導士の指導のもと脳の活性化・手足の運動機能の向上を目指すラダーウォーキングを行った。また、タオルやボールを使って、家庭で出来る手軽な運動を紹介し、参加者が日頃から定期的に運動を継続できるよう促した。普段の生活に運動を取り入れることで、脳の活性化や体力維持ができ、心と身体の両面が充実することで健康寿命のアップを目指すことにつながった。各地区の保健推進員を中心に参加を呼びかけ、それぞれの地区での開催に広げていきたいと考えたが、運営形態(実施時間等)が市民のニーズに合っておらず、本市目標とする成果が見込めないため、29年度で廃止とした。今後、別のアプローチにより、健康寿命アップを促進する事業を考えていく。	年間20回開催 参加延人数 221人	健康運動指導士 160,000円(8,000円×20回) 看護師 80,000円(4,000円×20回) 通信運搬費 4,850円 消耗品費 19,400円	廃止
I-1-(2)	いきいき健康ライフ教室	前年度の健診結果で、特定の検査項目が要指導だった40歳から64歳の方を対象に、健康体力診断、運動プログラムの作成、運動指導、食生活や日常生活の個別指導、講義を行うことで、健康づくりを図ります。	健康対策課	10回シリーズの教室を開催し、生活習慣の改善、継続的な運動実践に向けて支援を行った。平均出席率は81.4%であり、昨年の72%より約10%増加した。日々の運動習慣が身についた、食事面を気を付けるようになった人がいる一方、家での運動継続が難しい人もあった。初参加者数は11人で約半数であり、今後、新規の参加者を増やしていくことが課題である。	年間10回開催 参加実人数 21人 参加延人数 171人	講師 154,000円(15,400円×10回) 運動指導士 19,500円(6,500円×3回) 栄養士 13,600円(3,400円×2人×2回) 運動測定及び運動プログラム作成委託料 200,000円 通信運搬費 6,180円 消耗品費 2,592円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成29年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成29年度決算	次年度取組予定
<b>1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進</b>							
<b>(3) 高齢者のスポーツ活動の推進</b>							
I-1-(3)	がいなみっく予防トレーニング（通所型運動機能向上事業）	生活機能の低下が認められる高齢者を対象に、フィットネスクラブ、介護保険施設等で筋力トレーニング・有酸素運動・ストレッチ等を、理学療法士・作業療法士又は健康運動指導士により行います。運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	長寿社会課	18ヶ所のフィットネスクラブや介護保険施設で実施した。がいなみっく予防トレーニング終了後も、そのまま利用した施設で一般利用につながっている方が多い。	【がいなみっく予防トレーニング】 参加実人数 617人 参加延人数 6,928人 ※実施回数は、施設ごとで曜日や時間が異なるため不明	9,667,150円	継続
I-1-(3)	ふらっと運動体操（通所型運動機能向上事業）	高齢者を対象に、ふれあいの里等、市内3箇所の施設に設置された運動トレーニング機器を開放し、予約なしでふらっと立ち寄り気軽に運動できる環境を整備することにより、運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	長寿社会課	各々のペースで、メニューを考えて運動する雰囲気が定着している。 また、各会場で参加者同士の会話も見られ、仲間づくりにも繋がっている。 今後は体力測定等、運動効果の検証を行い、より充実した事業を展開していく必要がある。	【ふらっと運動体操】 参加延人数 3,590人 実施回数 144回（3会場×48回）	1,784,400円	継続
I-1-(3)	よなGO!GO!体操普及事業	高齢者が楽しく運動できるように「365歩のマーチ」の曲に合わせて、立ったり座ったりなど日常生活の動きを取り入れながら、普段動かさなくなった関節や筋肉を動かす体操です。よなGO!GO!体操を普及させ、高齢者が出来るだけ、長く健康でいきいきした生活を送れるよう、運動習慣のきっかけづくりとすることを目指します。	長寿社会課	各地区の健康づくり・地域サポーターがサロンや地域の行事でよなGO!GO!体操を実施した。 地区によっては、地域サポーターが少なくなっている。	各地区ごとのよなGO!GO!体操の実施回数 の把握はできていない。	なし	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成29年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成29年度決算	次年度取組予定
<b>基本方針Ⅰ 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実</b>							
<b>2 障がい者のスポーツ活動の推進</b>							
I-2	福祉大会等開催助成事業	鳥取県内で実施されている、さわやか車いすマラソン大会、手をつなぐスポーツ祭、アクアスロン皆生大会等の障がい者の各種大会の開催経費の一部を助成します。大会を通じて、障がい者がお互いの理解と親睦を深めると共に、積極的に社会参加する意欲を喚起することを目指します。また、市民の障がい者に対する正しい理解の啓発を図ります。	障がい者支援課	鳥取県内で実施された障がいのある人の大会である車いすマラソン大会、手をつなぐスポーツ祭、アクアスロン皆生大会、鳥取県身体障がい者体育大会、中国地区知的障害者関係施設親善球技大会について、開催経費の一部を助成した。大会を通じて、障がいのある人がお互いの理解と親睦を深めると共に、積極的に社会参加する意欲を喚起した。また、市民の障がいに対する正しい理解の啓発を図った。	【さわやか車いすマラソン大会】 H29.9.10 参加者数 選手 835人、関係者 600人 【手をつなぐスポーツ祭】 H29.10.14 参加者数 約730人 【アクアスロン皆生大会】 H29.10.8(前夜祭) H29.10.9(本大会) 参加者数 選手93人、関係者等(ボランティア含) 289名 【鳥取県身体障がい者体育大会】 H29.9.14 参加者数 選手 301人、関係者等 59人 【中国地区知的障害者関係施設親善球技大会】 H29.9.23 参加者数 189人	【さわやか車いすマラソン大会】 補助金 70,000円 【手をつなぐスポーツ祭】 補助金 65,000円 【アクアスロン皆生大会】 補助金 100,00円 【鳥取県身体障がい者体育大会】 補助金 340,000円 【中国地区知的障害者関係施設親善球技大会】 補助金 50,000千円	継続
I-2	各種スポーツ・体操講座(障がい者福祉施設管理運営事業)	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフ、ヨガ、卓球等の講座や、車椅子バスケットボール、風船バレーボール、GO GO体操等のスポーツを行います。スポーツを通じて体を動かす喜びを知ってもらうことで、身体能力の向上と仲間との交流を図ります。また、運動不足になりがちな方々の身体能力の回復を図ります。スポーツ大会の際には、障がいのない人がボランティアとして参加するなど、障がいのある人となない人の交流促進を図ります。	障がい者支援課	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフ、ヨガ、卓球等の講座や、車椅子バスケットボール、風船バレーボール、3B体操等のスポーツを行った。運動不足になりがちな障がいがある人が、スポーツを通じて体を動かす喜びを知り、身体能力の向上と仲間との交流を図った。また、スポーツ大会の際には、障がいのない人が障がいがある人の補助を行うなど、障がいのある人となない人の交流促進を図った。	グラウンドゴルフ 24回 ヨガ 12回 卓球 24回 車椅子バスケットボール 20回 ふうせんバレーボール 22回 アーチェリー 48回 GOGO体操 24回	指定管理料 824,000円	継続
I-2	米子市こころの広場事業	在宅療養中で、精神に障がいのある方が、体育施設等でスポーツ(卓球、バドミントン、風船バレー等)を行うことで、他者との交流を図ります。	障がい者支援課	年1回(6月)、スポーツを計画し、実施した。年計画の他に、スポーツ交流会(地域活動支援センターエポック翼主催)へ参加し、市内の事業所へ通っている仲間と交流を図った。	【スポーツ(卓球、バドミントン、風船バレー)】 H29.6.15 米子サン・アビリティーズ 参加者数 13名 【スポーツ交流会(卓球、バレー、ソフティーボール、レクリエーション)】 H29.9.15 東山体育館 参加者数 5名	報償費 6,500円 消耗品費 16,690円 その他使用料 900円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成29年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成29年度決算	次年度取組予定
<b>基本方針Ⅱ スポーツ活動によるコミュニティづくりと地域振興</b>							
<b>1 地域のスポーツ活動の推進</b>							
Ⅱ-1	スポーツ推進委員協議会運営事業	米子市スポーツ推進委員協議会を運営し、スポーツ推進委員により、住民に対するスポーツの実技の指導その他、スポーツに関する指導及び助言を行うことで、地域でのスポーツ活動の活性化に向けた取り組みを行い、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【スポーツ推進委員協議会】 市民を対象とした体力づくり歩け歩け大会、体カテスト会(2回)、ドッチビー大会の開催、機関紙の発行など主管事業を開催した。 また、協議会内部の事業として、スポーツ推進委員を対象としたふらばーるバレーボール大会、ニュースポーツ講習会(ディスコン、バットゲームスター)、ストレッチ体操指導者研修を実施した。	【ふらばーるバレーボール大会】 参加者数 28人 【ディスコン講習会】 参加者数 26人 【バットゲームスター講習会】 参加者数 37人 【ストレッチ体操指導者研修】 参加者数 26人	スポーツ推進委員協議会 運営費 2,010,000円	継続
Ⅱ-1	学校体育施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域に開放します。学校体育施設を有効活用することにより、地域住民にスポーツ活動の場を提供し、地域でのスポーツの活性化を図ります。	スポーツ振興課	予定どおりに実施した。 今後も学校及び各地区の管理運営委員会で利用調整を図り、学校体育施設の開放に努める。	【利用実績】 小学校 18,413件、396,655人 中学校 3,054件、43,383人 【委員会当たり平均実績】 小学校(26委員会) 708件、15,255人 中学校(11委員会) 277件、3,943人	印刷製本費 85,752円 手数料 18,615円 管理委託料 810,000円	継続
Ⅱ-1	やって未来や塾(米子市地域健康づくり応援事業)	地域住民を対象に、健康運動指導士が運動を主体とした健康づくりのための運動指導及び活動支援を行います。地域住民が、自主的な活動として楽しく継続的に取り組んでいくことを支援し、運動を主体とした健康づくりを図ります。	長寿社会課	継続的支援、新規立ち上げ支援を行った。 普段から積極的に活動に取り組んでいるグループに対し、年3回、運動等の内容についての支援を行い、自主活動の充実につなげた。 今後、新規の立ち上げを増やしていきたい。	【新規活動支援】 1ヶ所、10回 参加者数 153人 【継続活動支援】 26カ所、78回、 参加者数 1,089人	646,000円	継続
Ⅱ-1	米子市健康づくり地域サポーター養成事業	地域で運動を主体とした健康づくり活動をした方が、「健康づくり地域サポーター」として、地域で健康づくり活動を推進していきます。地域サポート講座や研修会等で得た介護予防に関する知識の地域への普及、「よなGOGO体操」の普及活動、地域の体力測定会やサロンでの健康づくり活動のサポートなどを行うことで、地域全体での高齢者を支える仲間づくりをすすめ、地域での健康づくりを目指します。	長寿社会課	地域サポート講座基礎編とスキルアップ編を実施し、地域でのサロン活動に活かしてもらった。 サポーターの平均年齢が高くなっており、地域によってはサポーターの数が減少していることから、若いサポーターの確保が必要である。	【基礎編】 1回 参加者数 62人 【スキルアップ編】 4回 参加者数 会場1:110人、会場2:98人	385,400円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成29年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成29年度決算	次年度取組予定
<b>2 スポーツに触れる機会の提供</b>							
Ⅱ-2	プロスポーツの支援活動	地元で活躍するプロスポーツチームの活動を応援し、また、競技、チームに関する情報発信や、ホームゲームに合わせてイベントを開催するといった、市民にプロスポーツをより身近に感じてもらえるような機会の提供に努めます。	スポーツ振興課	ガイナール鳥取ホームタウンデーの開催に合わせてイベントを実施し、ホームゲームを盛り上げるとともに米子市のPRを行う予定であったが、台風の影響で中止した。	【ガイナールホームタウンデーイベント】 H29.10.22(日) ※台風の影響で中止	消耗品費 62,400円 手数料 8,640円	継続
Ⅱ-2	全国トライアスロン皆生大会	日本トライアスロン発祥の大会であり、本市を発着点として鳥取県西部一円で開催されています。大会では毎年数多くのボランティアの方が参加し、市民と選手が直接触れ合う機会となっています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	平成29年7月に「全日本トライアスロン皆生大会第37回大会」を予定どおり開催した。定員の2倍近くの参加申込者数があり、4,000人を超えるボランティアの参加があった。県外からの参加者も多く、誘客を促進できた。	【全国トライアスロン皆生大会】 参加者数 個人923名、リレー60チーム 申込総数 個人1,786人、リレー76チーム	事業費(委託料) 7,894,000円	継続
Ⅱ-2	皆生・大山SEA TO SUMMIT	日本海から大山山頂までをカヤック・自転車・登山の3種目で目指す体験型環境スポーツイベントです。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	平成29年5月に「皆生・大山SEA TO SUMMIT第9回大会」を予定どおり開催した。参加者の内訳は、県内48%、県外52%となっており、遠方では北海道からの参加があった。この大会を通じて誘客促進ができた。当初は、皆生・大山大会のみの開催であったが、現在では、年間12大会を開催しており、参加者が分散してきていることから、参加者数は減少傾向となっている。	【皆生・大山SEA・TO・SUMMIT】 参加者数 95組、176人(男性145人、女性31人) 最高齢 77歳、最年少 13歳	報償費(米子市長賞) 10,000円 事業運営負担金 300,000円	継続
<b>基本方針Ⅲ スポーツ環境の充実</b>							
<b>1 競技力の向上</b>							
Ⅲ-1	体育協会運営事業	米子市体育協会を運営し、スポーツ団体との連絡調整を行い、優秀な成績を収めた競技者を表彰するなどして、各種スポーツの振興を図るとともに、各競技団体の競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	米子市体育協会として、以下の事業を実施した。 ・9種目のスポーツ教室、10種目のスポーツ大会、8種目の市民体育祭を加盟団体に委託して実施することにより、市民体育行事への推進と協力を図った。 ・鳥取県民スポレク祭実行委員会に参画し、加盟団体に対し参加の呼びかけと参加者の取りまとめを行った。 ・県大会以上の大会で優れた成績を挙げた小学生から一般の選手について、加盟団体からの推薦に基づき選考し、表彰した。 ・全国大会に出場した小学生に対して、激励金を交付した。	【鳥取県民スポレク祭参加者実績】 1,655人 【スポーツ表彰事業】 個人 199人 団体 58団体 【小学生全国大会出場激励金交付事業】 個人 11名 33,000円 団体 7団体 135,000円 種目 柔道、卓球、ソフトテニス、野球、バレーボール、バスケットボール	米子市体育協会補助金 110,000円	継続
<b>2 スポーツ施設等の充実</b>							
Ⅲ-2	体育施設管理運営事業	体育施設については、各種スポーツ大会の会場及び災害時の避難所となるため、危険箇所および老朽箇所の改修を行い、利用者に安全・快適に体育施設を利用してもらえるよう管理運営に努めます。	スポーツ振興課	・市民体育館 ・庁内組織において整備方針を継続検討中。 ・住吉体育館 平成30年度に改築工事を施工するにあたり、実施設計を実施した。 ・東山陸上競技場電気設備改修工事、東山庭球場照明塔ほか改修工事、市営武道館屋根修繕工事、淀江球場バックネット修繕工事については、予定どおり実施し年度内に工事を完了した。	【住吉体育館】 ・旧耐震基準体育施設耐震化 【東山陸上競技場】 ・電気設備改修 【東山庭球場】 ・照明塔ほか改修 【市営武道館】 ・屋根修繕 【淀江球場】 ・バックネット修繕	【住吉体育館改築建築主体工事実施設計業務委託】21,384,000円 【住吉体育館改築建築設備工事実施設計業務委託】5,152,000円 【東山陸上競技場電気設備改修工事】7,932,000円 【東山庭球場照明塔ほか改修工事】28,731,000円 【市営武道館屋根修繕工事】18,425,000円 【淀江球場バックネット修繕】990,000円	継続

米子市スポーツ推進計画に掲げる施策の事業別実施状況（追加）

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	平成29年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	平成29年度決算	次年度取組予定
<b>基本方針Ⅰ 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実</b>							
<b>1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進</b>							
<b>(1) 子供のスポーツ活動の推進</b>							
I-1 (1)-ウ	ウ 学校体育・部活動の充実	・小体連及び中体連への支援 ・体力テストの実施	学校教育課	<p>【小体連及び中体連への支援】</p> <p>小体連 大会に参加する児童の輸送用バスの借り上げを市が行っている。</p> <p>中体連 中国大会、全国大会で本市が会場となる場合は1競技あたり中国大会は4万円、全国大会は10万円を補助している。（平成29年度は中国大会の体操のみ）</p> <p>【体力テストの実施】 毎年、市内全小中学校で全児童生徒を対象に実施している。スポーツ庁が行う「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」は小学校5年生と中学校2年生を対象として毎年実施している。調査結果は、小学校5年生と中学校2年生ともに体力合計では、全国平均をやや下回っている。種目によっては、全国平均値を上回るものもある（特に持久力）。一方で、柔軟性や俊敏性の他、投げる力は、全国平均値を下回っている。対策としては、小中一貫教育の取り組みの一つとして、ある中学校区では、中学校の体育教員が校区の小学校へ出向いて授業を行っているケースもある。</p>	<p>【小体連及び中体連への支援】</p> <p>小体連:輸送用バス借り上げ ・連合体育大会 ・鳥取県運動記録会 中体連:中国大会開催補助 ・中国中学校総合体育大会(体操の部)</p> <p>【体力テストの実施】 全国体力・運動能力・運動習慣等調査 ・小学校5年生:1,257人 ・中学校2年生:1,314人</p>	<p>【小体連及び中体連への支援】</p> <p>小体連 ・連合体育大会:1,036,800円 ・県運動記録会:432,000円 中体連 ・中国大会補助金:40,000円</p>	継続